



鳩っ子だより

令和5年9月28日
NO.7
加古川市立鳩里小学校
校長 尾崎 貴弥

◆全国学力・学習状況調査の結果

令和5年4月18日(火)に、全国の小学6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。今年度の調査は国語・算数と学習状況に関する質問紙からなっており、その結果が返送されてきました。

この調査は学力の一部を調査したものであり、子どもたちの学力全てを示すものではなく、この結果のみで評価できるものではありませんが、結果を十分に検討し、子ども達の学力をさらに伸ばしていくために活用してまいります。

学力面での結果ですが、正答率は、国語では全国平均よりやや低く、算数は全国平均とほぼ同程度の結果でした。

一方、どちらの教科も無解答率が全国平均よりも低く、最後まで粘り強く取り組む姿勢が身につけていることがわかります。無解答率が低いという事は、これまで、自分の考えをしっかりと持つことを大切にする「協同的探究学習」に基づいた研究を校内で進めてきた成果が表れています。

今後も、基礎的・基本的な力を育みつつ、思考力・判断力・表現力等を育成するバランスの取れた学習の充実を図ってまいります。

また、児童質問紙の回答結果では、鳩里小学校の児童の素晴らしいところがみられました。



- ・「自分にはよいところがある」91.0%
- ・「人の役に立つ人間になりたい」98.8%
- ・「よいところを認めてくれている」93.4%
- ・「友達関係に満足している」94.1%
- ・「幸せな気持ちになることがある」91.6%
- ・「いじめはどんな理由があってもいけない」98.8%
- ・「将来の夢や目標を持っている」89.3%
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」85.0%

※数値は、肯定的回答をした児童の割合



これらの結果から、多くの児童が自己有用感を持っており、規範意識も高く、自分と周囲との関係もうまく築いていける様子が示されています。

一方、家庭学習に関して、改善すべき課題もみられました。

- ・「授業以外に1日当たりどのくらい読書をしますか」
→「10分以下」と回答した児童の割合 39.0%
- ・「休日、家でどれくらい勉強をしますか」
→「全くしない」と回答した児童の割合 18.0%



時間をコントロールしたり、優先順位を判断したりするなど、自分で計画し、実行できる力は大変重要な力です。時間の使い方についてご家庭でも確認する機会にさせていただきたいと思います。